

勉強会・任命式を開催しました！

平成 27 年 7 月 23 日（木） コラボしが 21（大津市）にて

7 月 18 日（土）に予定していた任命式が台風の影響のため中止となり、この日から、子ども議員の活動が始まりました。

環境によいことについて考えよう！

子ども議員の最初の活動として、「滋賀グリーン購入ネットワーク」様から、環境に関する授業を受けました。緊張気味の子ども議員も、環境によい暮らし方についてみんなで考えたり、グループで話し合ったりするうちに、自然と打ち解けあい、授業が終わるころには表情も穏やかになっていました。また、自分の暮らし方を見直すことで、よりよい環境づくりに貢献できることを知った子ども議員でした。



授業の様子

体験活動のめあてを決めよう！

午後からは、今後、県内各地で行う体験活動の説明を聞き、活動班をつくり、体験のめあてなどを話し合いました。これから始まる体験活動を前にめあてができたことで、より充実した時間となることを願っています。

また、グループ同士の親睦を図るために行った班対抗似顔絵大会も大いに盛り上がり、たくさんの笑顔を見ることができました。



班ごとにめあてを発表

任命式

この日の最後に任命式を行いました。子ども・青少年局長より、一人ひとりに任命書が手渡されました。



これから半年間、12月の「子ども県議会」に向けて、子ども議員としての活動が始まります。県内各地から集まる小学4年生から中学3年生までの子ども議員同士が交流し合い、意見を出し合いながら、ふるさと滋賀県がさらによくなるような提案を考えてもらいます。どんな提案を考えてくれるのか、今から楽しみです。



第1回体験活動を行いました！

平成27年7月30日（木） 愛荘町、甲賀市にて

12月の子ども県議会に向けて、滋賀県についてより詳しく知るために、夏休みに3回、体験活動を行います。

7月30日（木）に第1回の体験活動を行いました。

「ものづくり」の現場を知ろう！ ～愛荘町 コクヨ工業滋賀～

「ものづくり」の現場を知るために、愛荘町のコクヨ工業滋賀工場を訪問しました。この工場は年間1億冊以上のノートを生産する国内最大級のノート工場です。子ども議員は、ノートという身近な文具が県内で生産されていることや正確に効率よくノートが作り出される生産ラインに驚いていました。また、ヨシや近江麻をつかった滋賀県ならではの文具が生産されていることを知り、「すごいなあ」と感心していました。



工業見学の様子



説明を聞く様子

農業について知ろう！ ～甲賀市 るシオールファーム～

午後からは、農業について学ぶために、甲賀市の「るシオールファーム」を訪問しました。この農園では、減農薬、減化学肥料等、環境に優しい栽培を行い、生産から販売までを手がけられています。

まず、農園の代表である今井さんから、普段の仕事の内容や日本の農業の現状について話を聞きました。「食べてくれる人のために、しんどい仕事も頑張れる」という今井さんの話に子ども議員も、熱心に耳を傾けていました。

また、子ども議員からも、「農業をしようと思ったきっかけを教えてください。」
「農家が減っていることについて、どう思われますか?」「おいしい野菜をつくるコツを教えてください。」など今井さんに質問をし、丁寧に答えて頂きました。



質問コーナー

その後、農園で育てられているネギの収穫体験をしました。子ども議員は、満面の笑みを浮かべながら、手間をかけて大切に育てられたネギを、土から慎重に抜き、皮を剥いで収穫をしていきました。とても楽しいひとときでした。



収穫体験の様子

この日は「ものづくり」、「農業」について、見学や体験、それに携わる人と出会う中で、多くのことを学びました。次回の体験活動は、びわ湖放送へ訪問し、報道の現場について学ぶ予定です。



今井さんと一緒に記念撮影

第2回体験活動を行いました！

平成27年8月4日（火） 大津市：びわ湖放送にて

報道の現場を知ろう！ ～大津市 びわ湖放送～

8月4日（火）、報道の現場を知るために大津市のびわ湖放送株式会社を訪問しました。

まずは番組が収録されているスタジオで、びわ湖放送の歴史や番組ができるまでの仕事について、説明を聞きました。1つの番組が出来上がるまでには、様々なスタッフが携わりながら仕事をしていることを知ることができました。



<スタジオでの説明>



<スタジオ見学>

その後、カメラ操作の体験や放送局の見学を行いました。放送局の見学では、普段入ることのできない副調整室などにも入らせていただき、子ども議員は、その設備や機能のすばらしさに驚いていました。



<カメラ操作の体験>



<副調整室の見学>

今回の体験学習では、番組づくりから、各家庭にその番組が届くまでの過程をしっかりと学ぶことができました。「放送は1分、1秒も遅れることは許されないので、気を引き締めて仕事をしている。」というスタッフさんの言葉に、報道の現場の緊張感を肌で感じた子ども議員でした。

第3回体験活動を行いました！

平成27年8月6日（木） 大津市：アクア琵琶、琵琶湖河川事務所

防災について学ぼう！ ～大津市 アクア琵琶・琵琶湖河川事務所～

8月6日（木）、防災について学ぶために、アクア琵琶・琵琶湖河川事務所（大津市）を訪問しました。

最初に琵琶湖の水位を管理している琵琶湖河川事務所の方から、講義を受けました。琵琶湖には118本（支流を含めると496本）の川が流れ込んでいるのに対し、流れ出る川が瀬田川しかないため、昔から洪水がよく起こっていたこと、その一方、琵琶湖は京阪神地区の「水がめ」であり、水位が減りすぎても日常生活に支障をきたすことを過去の写真や出来事から学びました。そして水害や渇水から県民の暮らしを守るために瀬田川洗堰で琵琶湖の水位を管理していることを説明いただきました。梅雨シーズンや台風シーズンには水位を下げて洪水を防ぎ、1～6月までは渇水に備えて琵琶湖に水を貯めていること、水位を調整する際には魚の産卵期も配慮しているなど、具体的な話に子ども議員も熱心に耳を傾けていました。



<講義の様子>

その後、アクア琵琶の施設を見学しました。琵琶湖や洗堰に関する様々な展示を体験し、楽しく防災や環境について学ぶことができました。



午後からは、旧洗堰や現在の洗堰を管理している琵琶湖河川事務所の見学を行いました。

旧洗堰の見学では、昔は木材を洗堰にはめ込み、水をせき止めていたことを知り、驚く子ども議員。また、その木材の重さを体感し、昔の人が苦勞をしながらも県民の安全を守っていたことを知りました。



<旧洗堰の見学>

琵琶湖河川事務所では、最新の設備で琵琶湖の水位を管理している様子を見学しました。しかし24時間365日や、この事務所で琵琶湖の水位を監視していること、台風が来るときには複数の職員が何日も泊まり込みでいることを聞き、昔も今も、水害から県民を守るために、がんばっている人がいることを知りました。



<琵琶湖河川事務所の見学>



<旧洗堰にて記念写真>

第1回勉強会を行いました！

平成27年8月30日（日） 大津市：コラボしが21

滋賀県がさらによりよくなるための提案を考えよう！

夏休みの間に3回の体験活動を終え、この日は12月の「子ども県議会」に向けて、第1回の勉強会を行いました。

まず、子ども議員一人ひとりが、自分の考えた「滋賀県がさらによりよくなるための提案」を発表しました。「滋賀県にもっと観光客が増えるようにテーマパークをつくったらいい」「もっとスポーツを盛んにするために、滋賀県全体でスポーツ大会を開催したい」「琵琶湖一周バイパスをつくったらどうか・・・」など様々なアイデアが発表され、「それ、いいなあ」「なるほど」など他の子ども議員も熱心に聞き入っていました。



その後、全員の提案を、「環境」「教育」「スポーツ」など大きなテーマに分類し、同じ課題を持つ者同士のグループ（委員会）を作り、さらによりよい提案になるよう、話し合いました。

話し合いでは、一人の考えが、様々な意見によってさらによくなっていきました。また、子どもらしく豊かで自由な発想に、聞いている大人サポーターもびっくりしていました。

今後も勉強会を通して、提案や子ども宣言をまとめながら、12月の「子ども県議会」に向けて準備を進めていきます。



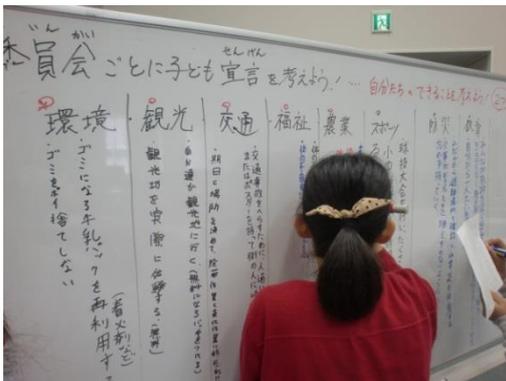
<委員会ごとの話し合いの様子>

第2回勉強会を行いました！

平成27年9月26（土） 大津市：コラボしが21

12月の「子ども県議会」に向けて、2回目の勉強会を実施しました。

この日はまず、委員会を開き、よりよい滋賀県を目指す上で、「自分たちでできること」を話し合い、子ども県議会で採択する「子ども宣言」の内容を決めました。



<各委員会で話し合ったことをまとめ、発表する様子>

その後、提案、活動報告等、役割に分かれて作業を進めました。作業の中で一番難しいのは、自分の思いを表現することです。そこで、大人サポーターから様々なアドバイスをもらいながら、自分の思いがよりわかる文章になるよう何度も書き直しながら頑張っていた子ども議員でした。



<提案をまとめる様子>



<活動報告をまとめる様子>

夏休みの体験活動や2回の勉強会を経て、今年度の「提案」や「子ども宣言」がほぼ決まってきました。次回は、これらをもう一度全員で共有し、しっかりと発表できるように「子ども県議会」のリハーサルを行います。

第3回勉強会（直前リハーサル）を行いました！

平成27年12月20（日） 大津市：コラボしが21

いよいよ「子ども県議会」が近づいてきました。この日は、本番に向けて、役割を確認し、直前リハーサルを行いました。

子ども県議会には、一人一役で以下のような役割があります。

- ・議長・・・・・・・・「子ども県議会」を進行する。
- ・活動報告・・・・・・・・これまでの子ども議員の活動をまとめ、報告する。
- ・提案・・・・・・・・各委員会で考えた提案を発表する。
- ・子ども宣言・・・・・・・・各委員会で考えた子ども議員の行動宣言である「子ども宣言」を発表する。
- ・感想・・・・・・・・子ども議員の活動を通して学んだことを発表する。

このような役割を滋賀県議会議場でしっかり果たすことができるよう、自分の台詞を何度も読み、最後に全体で「子ども県議会」の進め方について確認しました。

「礼は、あいさつを言ってからした方がいいと思います。」「議長が感想を求める時は、みんなで手をあげた方がいいと思います。」など、活発な意見交換が行われ、子ども議員みんなで、「子ども県議会」をつくりあげ、リハーサルを終えました。

さて、いよいよ25日が本番です。子ども議員50人にとって、心に残る「子ども県議会」になるよう、スタッフ一同、祈っています。



<リハーサルの様子>

「子ども県議会」を開催しました！

平成 27 年 12 月 25 日（金） 滋賀県議会議場

12 月 25 日（金）に「子ども県議会」が、滋賀県議会議場で行われました。夏の任命式からこれまでの間、体験活動や勉強会を通して滋賀県のことを学び、考えてきた子ども議員の皆さんにとって、この日は「晴れの舞台」です。これまでの活動の中で考えた提言を知事や教育長、各部長に発表しました。

子ども県議会では、子ども議員が議長となり、議事を進めていきました。まず、出席者の紹介の後、来賓としてお忙しい中、来ていただいた西村県議会議長、大橋厚生・産業常任委員長から挨拶をいただきました。

次に子ども議員からこれまでどんな活動をしてきたのか、「活動報告」が行われました。



その後、25 名の議員がそれぞれのグループで考えた提言を、堂々と発表し、その提言に対して、知事や教育長、各部長が答弁をしました。





子ども議員の提案と答弁者

- | | |
|--------------------------------|----------|
| 1 地産地消を心がけてもらうために | 知事 |
| 2 買って当てよう！近江くじ | 商工観光労働部長 |
| 3 プール施設の充実 | 教育長 |
| 4 食用油のリサイクルについて | 琵琶湖環境部長 |
| 5 パーキングパーミット制度をもっとひろめるために！ | 健康医療福祉部長 |
| 6 「いざ」という時のために | 知事公室長 |
| 7 ビワコリンピック開催 | 教育長 |
| 8 滋賀のイメージソングをつくろう | 知事 |
| 9 みんなが安全に使える道路になるように | 県警本部長 |
| 10 ブラックバスをより身近に～名前を変えてふきゅうしよう～ | 農政水産部長 |
| 11 滋賀伝統産業フェスティバルの開催について | 商工観光労働部長 |
| 12 外来種のポイントカード | 琵琶湖環境部長 |
| 13 一人ひとりの居場所が持てるように | 教育長 |
| 14 滋賀をめぐる遊覧飛行の旅 | 知事 |



提言を公表した後、子ども議員自らが、「素晴らしい滋賀県にするために生活の中で心掛けること」を「子ども宣言」にまとめて提案し、全会一致で採択しました。



「平成27年度子ども県議会子ども宣言」 平成27年12月25日

○環境委員会

ゴミを減らすことを心がけ、牛乳パックやペットボトルの再利用を心がけます。

○スポーツ委員会

運動に親しみ、学校の休み時間には積極的に楽しみながら体をうごかします。

○観光委員会

滋賀のすばらしさを知るために、実際に自分たちも観光地を体験します。

○交通委員会

交通事故をへらすために交通ルールを守ります。

○福祉委員会

お年寄りや体の不自由な人には、自分から席をゆずります。

○農業委員会

滋賀県でできたものをたくさん食べて、地産地消を心がけます。

○防災委員会

普段から避難場所を確認し、防災意識をつねにもちます。

○教育委員会

みんなが楽しい学校にするため、自分から一人である人に積極的に話しかけます。

○伝統産業委員会

滋賀県の伝統産業をもっと知ります。

最後に三日月知事から挨拶をいただき、これまでの子ども議員としての活動にねぎらいの言葉を頂くとともに、これからの子ども議員の皆さんに激励の言葉を頂きました。



子ども議員の皆さん、これまで半年間の活動の中で、滋賀県のことを一生懸命考えてくれて、ありがとうございました。県内各地より小学校4年生から中学校3年生までの幅広い年齢層の子ども議員が集まり、楽しく活動し、考えを語り合う中で、素晴らしい提言や子ども宣言を考えてくれました。そして、今日の「子ども県議会」では、多くの人たちの前で、堂々と発表することができました。これからもそれぞれの地域において、今回の経験を生かして活躍してください。



国際交流体験を行いました！

平成28年1月16日（土） 草津市：草津市立まちづくりセンター

内閣府が主催する青年国際交流事業で来日している海外青年のうち、メキシコ合衆国とアラブ首長国連邦の青年21名が地方プログラムの一環として滋賀県を訪れ、子ども議員と交流しました。

この日は、子ども議員と海外青年とがグループになり、習字、けん玉、こま、カロムなどを楽しみました。最初は緊張気味の子ども達でしたが、海外青年が話しかけると身ぶり手振りでコミュニケーションをとり、最後にはすっかり打ち解けていました。



<習字コーナー>



<けん玉コーナー>



<カロムコーナー>

これまで滋賀県をよりよくしようと話し合ってきた子ども議員ですが、この国際交流体験をとおして、世界にも視野を広げることができました。

この活動をもって、子ども議員としての活動は終了です。子ども議員の皆さん、これからもそれぞれの地域で、これまでの経験を生かしてご活躍ください。

